

緑丘さつぽろ



平成9年卒
山谷 智恵子

巻頭リレーエッセイ

散歩のすすめ

令和3年卒 宮地 知佳

私は散歩が趣味である。散歩は健康増進はもちろん、風や音を感じたり障害物をよけるなど、様々な刺激を受けることで脳の活性化にも効果的であるようだ。私は商大在学中、基本は徒歩通学で、雨の日も雪の日も地獄坂を登っていた。そのことが今の散歩好きに少なくとも起因しているのであろう。大学の思い出として地獄坂の印象は今も色濃く残っている。商大卒業生の方とお話する機会がある際、地獄坂が話題にあがることもよくある。（「登山」派かバス/タクシー派かなど…）

商大付近には地獄坂はもちろん旭展望台など自然豊かな（急勾配な）散歩スポットが多くある。

現役生も卒業生も足元に気をつけて、小樽散歩を楽しんでみてはいかがであろうか。

Index

- 01 巻頭エッセイ
- 02 新年ご挨拶
- 04 32 卒寿の会
- 05 平成2年入学 卒業30周年同期会
平成3年入学 同期会
- 06 他支部だより 小樽支部
- 07 緑輝星通信
- 08 MBA会報告
エバーグリーン講座日程
- 09 囲碁クラブ / 商大 JAZZ 研
- 10 札幌支部活動報告
- 11 物故・編集後記
- 12 新年交礼会のご案内



〈編集〉 緑丘会札幌支部 総務広報部会
札幌市中央区北5条西5丁目7
SAPPORO55ビル3階 〒060-0005
小樽商科大学札幌サテライト内
〈印刷〉 岩橋印刷株式会社

<http://www.ryokiyukai.com/>

緑丘会活動の一層の充実を

緑丘会札幌支部 支部長
平塚 彰
(昭和 57 年卒)



新年明けましておめでとうございます。

緑丘会札幌支部会員の皆様におかれましては、決意を新たに穏やかな新年を迎えられたことと拝察いたします。改めまして日頃より支部の活動にご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます、本年も母校発展のために皆様方のお力添えをお願い申し上げます次第です。

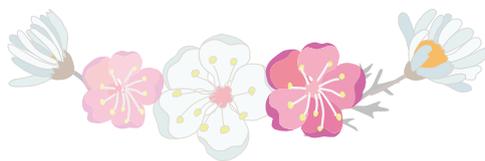
昨年は、国内外で多くの試練がございました。元旦に能登半島地震が発生し、7月から8月にかけて各地での猛暑、そして9月には再び能登半島を襲った大豪雨など、どれだけ科学技術が進歩しても、大自然の猛威を前にすると私たち人間が如何に小さなものであるかを実感させられます。

また海外に目を向けますと2年にも及び、終わりの見えないロシアのウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ攻撃など、「戦争」という過ちを繰り返し続けています。一日も早く、平和で安定した日々が訪れることを願うばかりです。

さて、札幌支部の最大の課題は「支部会員の増強」との位置づけで、ここ数年総務部会、イベント部会を中心に様々な施策を検討、実施しております。若年層の緑丘会離れを止めるべく、昨年は7月の年次大会を平

日、イタリアンレストラン貸し切りでの開催を試み、若年層が仕事帰りに参加できる環境をつくりました。また年会費を従来の銀行口座からの引き落とし、ゆうちょ払い、コンビニ払いなどに加え、クレジットカードでの支払いを可能としました。銀行や郵便局の窓口やコンビニに出向くことなく、手数料も軽減されます。そして年会費を10万円、一括で納入頂くことができるようにしました。毎年の年会費納入手続きが面倒でまとめて支払いをしたいという強いご要望に応え、年齢制限なく一括10万円をお支払い頂くと、全期間の会費を納入済みとさせていただきます。以後の会費納入は不要となり、会報誌・緑丘さっぽろの送付やその他の会員権利は永年継続されます。ぜひご検討頂きますようお願い致します。既に多くの方々の協力を得ております。

最後になりますが、本年は札幌支部も、母校の支援、会員の親睦を柱とした支部発足時からの原点にもう一度立ち返り、その目的を果たすとともに、地域社会貢献の一翼を担いたいと考えております。緑丘会活動の一層の充実と会員相互の連携や交流が更に深まり、母校小樽商科大学の益々の発展を祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。



ユニバーサル・ユニバーシティ構想

小樽商科大学学長

穴 沢 眞



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。OB・OGの皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

今回は2022年に策定した「新しいビジョン2030」について説明しました。2022年は本学が帯広畜産大学、北見工業大学と経営統合を果たし、新たに北海道国立大学機構を創設した年であるとともに国立大学の6年間にわたる第4期中期目標・中期計画の最初の年に当たりました。この年に本学は上述の「新しいビジョン2030」において、「北海道において大学のないまちに「大学」機能を。」という見出しとともにユニバーサル・ユニバーシティ構想についても記載しました。

ユニバーサル・ユニバーシティ構想は本学の創立110周年の際にその全容を明らかにして以来、様々な機会をとらえマスコミなどにも取り上げて頂いています。本構想の目標は「2030年までに高等教育に触れない道民の数をゼロにする」というものです。現在は本学が中心となって本構想を進めていますが、既に北海道国立大学機構のプロジェクトとしても認めて頂いており、機構内での協力関係の構築を進めるとともに、幅広く、北海道内の大学、自治体、企業とも連携しながら本構想の実現に向け邁進しています。

ユニバーサル・ユニバーシティ構想のきっかけとなったものが小樽市と共同で行った人口減少問題研究です。人口減少問題の原因の一つが教育環境であることが本研究により判明しました。これを受け、全道的

な活動を進めようとするものがユニバーサル・ユニバーシティ構想です。本構想は次の3つのプラットフォームからなります。それらは「進学支援型プラットフォーム」、「リカレント教育型プラットフォーム」、そして「教養教育型プラットフォーム」です。

まず、「進学支援型プラットフォーム」ですが、これは本学の夜間主コースの社会人枠を活用し、オンライン授業を中心に地元で働きながら大学に進学する仕組みを構築するものです。次に、「リカレント教育型プラットフォーム」ですが、本プラットフォームは地域で働く人々のキャリアアップを企業や自治体と連携しながら支援するものです。最後に、「教養教育型プラットフォーム」ですが、これは単位認定制度を利用して全道民に「大学経験」を提供し、大学を身近なものとするものです。

現在、以前から連携している小樽市と余市町を除くと、既に上川町、音更町、ニセコ町、中標津町の4つの町と包括連携協定を締結し、様々な活動を開始しています。今後、2025年度中にはさらに北海道内の5つの自治体と包括連携協定を締結することを目標としています。一方で、2025年度中には本学の取り組みを全道的なムーブメントとするため、北海道ユニバーサル・ユニバーシティコンソーシアムを設立し、大学、自治体、企業などと連携しながら全道で上記のプラットフォームで示した新しい教育を進めていく予定です。

32卒寿の会

檜原隆司
(昭和32年卒)

昭和32年卒業の私達は、卒業20周年時の記念大会以来、17回にして最終回を迎え、6月20日JRタワーホテル日航札幌の36階で開催した。卒業時180人居たメンバーが、名簿に残るのは50人、その内出席は、会員では紅一点だった伊藤さんを含め8名、名代参加1名、家族参加1名、計10名の参加であった。10日前までは14名の予定だったが、健康や家庭の都合により急遽少なくなった。さぞ無念であったと思う。当日午後には晴れて最上階からの札幌市内の眺望は見事であった。

初めに物故者に対する黙禱、続く実行委員長中村典雄氏の挨拶の中で、我々32会メンバーの活躍の状況について、緑丘会理事長に石川哲郎氏・篠崎義彦氏・事務局長に故小塚邦夫氏・札幌支部支部長を12年の長きに亘り務めた横井久氏・札幌支部の幹事長副支部長の役を担った故中本毅彦氏・学校100周年時はじめ折々に多額の寄付をしている清水卓治氏、また中本氏は32会の幹事事務局長として30年余の長い間担当し、東京では市川健氏が常に幹事役としてその任に当たるなど、実に多士済々のメンバーで誇りに思うと述べられ

ました。加えて長年学校の理事として学生の就職支援に尽力した中村典雄氏の活動を特記します。

続いて清水卓治氏の発声で乾杯の後、懇親会に入りました。少人数でしたので一つのテーブルを囲んで最高級の料理を食し自由に飲み、会は盛り上がり、実に和やかに談笑し、一人ずつ全員が近況や大学時代の思い出を語り、最終回に相応しい有意義な会となりました。最後に鈴木市男氏のリードで、進軍歌・校歌を合唱し、柴田哲治氏の音頭で手締めし、互いの健康と更なる長寿を祈願し解散しました。

欠席の諸氏も、最終回なので参加したいのは山々なれど、体調の問題で不参加やむなしとの返信ハガキが殆どであったことを付記します。

追記 去る9月27日、市川健氏が死去 ご冥福を祈る

出席者 伊藤千鶴子・檜原隆司・柴田哲治
清水卓治・鈴木市男・長崎秀孝・中村典雄
冷泉豊彦・富山正子(富山憲一夫人)
伊藤友美(伊藤千鶴子長女)



平成2年入学組 卒業ほぼ30周年記念同期会

鴨田 美抄子
(平成6年卒)

令和6年(2024年)1月、硬式庭球部主将、研谷君の声掛けで大幹事団を結成。そして、同年9月14日(土)「卒業ほぼ30周年記念同期会」を開催しました。会場となったのは、明治末期に建てられた旧北海道銀行本店(※今の道銀とは異なるようです)を利用したワイン&カフェレストラン「小樽バイン」。来賓に穴沢学長を迎え、道内外から36名の同期が小樽に集結しました。

はじめに体育会会長、鎌田君の開会挨拶、次に穴沢学長からご祝辞をいただき、アメリカンフットボール部主将、阿部君の乾杯の挨拶にて宴は始まりました。美味しいお料理とワインやビールに舌鼓を打ちながら、一人ひとことテーブルスピーチがスタート!現在の仕事や趣味のこと、そして学生の頃の思い出、定山溪一泊二日のオリエンテーション。新入生同士の親睦を深める行事でしたが、今ではNGな事だらけ!ここで大人の味を覚えた人もいたことでしょう…。また、今回残念ながら出席できなかった方々からのメッセージをご紹介します、共にこの青春の地、小樽に想いを馳せました。その後は席を移動しながら旧交を温め、あっという間に楽しい時間は過ぎ去っていきました。

そして、名残惜しい雰囲気の中、文連を代表しCPU研究会、三宅君から締め挨拶があり、最後はやっぱり若人逍遥の歌。会場には大きな円陣ができ上がり、応援団団旗長兼鼓手長、加屋野君の口上に続き、誰かからともなく肩を組んでいって大合唱。中には、何年もずっと歌っていなかったのに歌詞がスラスラとでてくることに驚く声もありました。こうして30年前に戻ったような高揚感に浸りながら、私たちは会場を後にしたのでした。



二次会は「マルジェ・ナオ」、続く三次会は「金太の金太」と「レノンセンス」の2チームに分かれて懐かしい時間を過ごし、その後、まだまだ夜は終わらない小樽満喫お泊りメンバーは、商大の学生が運営する「Tug-B」へ吸い込まれていきました…。

あっという間の@小樽…懐かしさと発見のある夢のような一日でした。また10年後!

**小樽商科大学
平成3年入学同期会のご案内**

卒業30年の節目を記念し同期会を開催いたします。
多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

日程: 2025年7月5日(土) 17時スタート
場所: 小樽市内で選定中
申込方法: Google フォーム
リンクは後日お知らせいたします
連絡方法: Facebook または LINE の同期グループで
情報共有、同期会名簿にメールアドレスを
登録されている方には個別にご案内をお送りいたします

お願い

お近くの同期にもお声がけいただき、ぜひ多くの方々のご参加を促していただけると幸いです。
ご不明な点やご質問がございましたら、お気軽にご連絡ください。ご参加をお待ちしております。

同期会幹事

歌原邦芳、遠藤聡史、桜田かおる、高橋真美(旧姓:黒田)
中島瑞恵(旧姓:宮本)、蓬田聖美(旧姓:林)



—他支部だより—

支部長に就任して

緑丘会小樽支部長
近藤 朋子
(昭和56年卒)



このたび、令和6年7月に開催された小樽支部総会におきまして、小樽支部長を拝命いたしました。札幌支部の皆さまとは、天野前支部長の代理として何度か会合に出席させていただいたり、ゴルフ同好会に参加したりのご縁もあり、顔見知りの方々がいらっしゃることを心強く感じております。最初に少しだけ自己紹介をさせていただくと、私は昭和56年卒業、ゼミは中先生の管理会計、クラブは写真部でした。現在は税理士を生業としていま



す。趣味はゴルフと仲間とお酒を飲むことです。卒業以来、小樽という地に愛着を持ちながら活動を続けてまいりました。これまでの経験を生かし、小樽支部のさらなる発展のため、微力ながら尽力してま

いりたいと考えております。

卒業して既に40年以上を過ぎようとしている今、母校に対する感謝の気持ちと愛着が増殖しているのを感じます。就任期間中に特に注力したいこととして、二つ挙げさせていただきます。まず第一に、若い世代の会員を増やすことです。地域の未来を担う若い方々が主体的に活動できるよう、支部として交流を深める事業を新たに展開していきたいと考えております。交流の場を設けることで、新たなネットワークやアイデアが生まれ、小樽支部がより魅力的な存在となることを期待しています。第二に、会員同士の情報共有をより円滑にするため、SNSの活用を推進したいと考えています。デジタル技術を活用することで、情報の発信・共有のスピードが向上し、支部活動の効率化が図れるとともに、新しい参加者を引き寄せる契機にもなると信じております。この二つの目標について先日開催した役員会で皆で話し合いを持ちました。

最後になりますが、札幌支部の皆さまとの交流も、私自身にとって大きな喜びであり、貴重な学びの機会です。どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。共により良い支部活動を築いてまいりましょう。

緑丘会館のご案内



緑丘会館は昭和55年4月にオープン、高層ビルの57階にあり、晴れた日には富士山、夜は新宿界隈の高層ビル群が絶景として楽しめます。

同期会、懇談会、講演会、会議、研修会などにぜひ利用してください。

〒170-6057

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号 サンシャイン60 (57階)

TEL: 03-3981-2340 / Mail: headoffice@ryokkyu.or.jp



ご利用申込やお問い合わせは公益財団法人小樽商科大学後援会 担当：池田

第2回 小樽商科大学ホームカミングパーティを開催いたしました

小樽商科大学同窓会組織「緑丘会」学生広報部

緑輝星 広報担当部長

高橋 彩都

皆様、こんにちは。「緑輝星」広報担当部長の高橋彩都です。

2024年10月19日(土)、私たち緑輝星は「第2回 小樽商科大ホームカミングパーティ」を開催いたしました。「卒業生と現役学生の交流活性化」を目標に、学生主催で開催したのが、およそ一年前。昨年以上に、皆様に楽しんでいただけるだろうかと不安に思っておりましたが、ご参加いただいた皆様からあたたかいお言葉をいただき、ほっと胸を撫で下ろしております。皆様のおかげで、楽しい会になりました。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

当日の様子を少しだけお話したいと思います。第一部ではまず、母校・小樽商科大学でレクリエーションを2つ行いました。ひとつ目は、小樽の特色をかるたにした『おたるかるた』です。小樽名物「あんかけ焼きそば」や小樽で唯一の造り酒屋である「田中酒造」が札になっており、グループで協力しながら札をとってもらいました。私は数人のメンバーと一緒に読み上げを担当したのですが、小樽らしいトピックに、うんうんと頷きながら読み札・絵札を眺めておりました。私の出身は旭川なのですが、商大に入学して小樽で過ごすうちに、だんだんとこの街にも馴染めてきたのかなと感じました。

かるたを使ったアイスブレイクの後は、次回以降の

ホームカミングパーティでどのようなことをしていけば参加者を増やすことができるかをグループで話し合い、各グループにプレゼンテーションをしていただきました。食堂メニューの復刻や、レゴブロックを使って理想の商大について話し合う、OB・OGの方々の自慢の話をグランプリ形式で競い合うなど様々な意見が出ました。写真を撮りながら、皆様の会話をこっそりと聞いていたのですが、この会に求めていることや参加する方が「もっとこうしてほしいよね」と思っていることを直に知ることができました。

第2部では自由に参加者同士で交流できるように、「ニュー三幸小樽本店」にて、意見交換会を行いました。私はこのような場に参加するのは初めてで、たくさんの卒業生の方々と円卓を囲んでいる状況に、緊張を隠せませんでした。そんな中、私と同じように緊張しているであろう学生たちに声をかけてくださった先輩の優しさに救われました。会の中盤には、学生によるスピーチが行われました。様々な分野で活躍している学生の存在を知り、力を分けてもらいました。普段、大学で出会うことのできない学生との繋がりも育むことができました。改めて、このような会を企画することの重要性を感じました。より大きな繋がりを作っていくために、緑輝星メンバー一丸となって今後も活動に励みたいと思います。



【第1部】「おたるかるた」の途中で小樽豆知識クイズも出題しました



【第2部】おいしいごはんを食べながら先輩との会話を楽しみました!

OBS現役生 JBCC 2年連続本選出場!

須川正啓
(平成26年OBS修了・9期)

OBSの現役生(21期)グループ(坂田 祐樹チーム)が、JBCC(日本ビジネススクール・ケース・コンペティション)の予選を通過し、昨年(令和6年)11月17日(日)に東京・明治大学で開催された本選に出場しました。



坂田チームの皆様、左から田和さん、中山さん、坂田さん、針原さん、伊藤さん

JBCCは、国内のビジネススクールの学生を対象とした国内最大級のビジネスケース・コンペティションで、今年で15回目を迎えます。総勢25校・160チームを超えるエントリーがあり、本選には坂田チームを含め20チームが出場しました。

2年前、OBSの現役生チーム(19期・令和6年3月修了)が予選を通過し、準優勝及び特別賞を受賞しました。OBSからの出場者の予選通過は2年連続となります。

坂田チームの結果は、本選・セミファイナル進出、惜しくもランドファイナル(決勝)出場はなりませんでした。私も本選の模様を拝見しました。全国大会への出場を通じて交流の輪が広がり、OBSの知名度がさらに向上していく姿を見ると大いに刺激となりました。

出場された皆様、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

2024年度 エバーグリーン講座 日程

	講演月日	講師氏名	卒年	講演テーマ	現職等
1	9月25日	緑丘会：永井事務局長 実行委員会：小椋委員長 担当教員：大津 晶	1976 1983		
2	10月2日	卒業50周年記念講座 伊勢仲裁		おたる水族館 いままでとこれから	小樽水族館館長
3	10月9日	小門晃子	2003	変化し続ける市場経済での公認会計士ニーズの高まり	有限責任監査法人トーマツ 監査・保証事業本部 監査アドバイザー・事業部
4	10月16日	石川朋佳	2022	未利用資源を活用した地域経済活性化の取組について	トヅキ合同会社 代表社員
5	10月23日	茂木元晴	1971	日本におけるバブル経済崩壊の実証	茂木会計事務所
6	10月30日	中山康弘	1995	公務員を元気に 国民を幸せに：北海道で働く国家公務員	人事院北海道事務局総務課長
7	11月6日	北嶋雅彦	1986	資産運用立国の実現に向け～金融機関の果たすべき役割	三井住友信託銀行・エグゼクティブ・アドバイザー
8	11月13日	秋田貴之	1997 2019*	地方都市でビルを創るということ	NTTアーバンバリューサポート
9	11月20日	高橋真史	2003	国際観光都市「OTARU」の可能性と課題：海外に出て気付いた北海道、小樽の魅力、朝里川温泉での挑戦	ホワイトツリー代表
10	11月27日	南耕一	2001	事業承継の必要性とM&Aについて	日本M&Aセンターフロンティアマネジメント(10月より)
11	12月4日	広瀬彩	2001	やりたいこと、得意なことを仕事にする：地方公務員の場合	北海道庁上海事務所 所長
12	12月11日	湯浅幸洋	1986	とある視覚障害者から見たIT環境の進化とそれがもたらしたこと	元NEC
13	12月18日	石出伸一	1992	エネルギーの現状と報道対応：電力会社広報の現場から	北海道電力広報部長
14	1月8日	影山みゆき	2023*	流れに乗って生きる ～ジブン経営(マーケティング)のすすめ～	Colyzon代表
15	1月15日	担当教員：大津 晶		総括	

*OBS

囲碁例会実戦記

2024年9月11日(水)中央区の囲碁サロン「未来」にて約一年ぶりの例会を開催しました。この一年間に5人の会員が逝去され参加者が13人と多少寂しくはありましたが、最強大先輩の石橋義次さん(昭和29年卒)を筆頭につわものが揃いました。囲碁の数奇奥深さはこのうえなく、3時間余りを存分に満喫しました。

戦績結果は 優勝 谷藤健治さん(昭和53年卒)
2等 奥野勝政さん(昭和40年卒)
3等 高橋節也さん(昭和36年卒)

でした。

次回にはより多くの参加者を迎え、いっそうの白熱対局を期待し終局となりました。



「小樽商科大学 JAZZ サークルの60年の歴史を紐解く冊子」について

住出 尊史
(平成5年卒: JAZZ 研究会)



商大JAZZ研究会の同期バンドCAT'S&CAMELの再活動開始したのが2018年。コロナ禍をなんとかやり過ごし6年越しでようやく、

2024年8月8日-10日に札幌と小樽で30年ぶりのReUnionライブを実施しました。ライブには現役から大先輩を始め、たくさんの関わりある方々との交流もあり、楽しいひとときを過ごすことができました。

またライブに向かう中で、自分たちがライブをやればいいだけではない、何かJAZZ研の歴史に貢献したいという思いがあり、商大ジャズサークルの60年史をまとめて、ライブまでに完成させようということになりました。'64年からJAZZサークル創成期の礎を築いたグリーンヒルジャズオーケストラ、短大JAZZ研究会、その後のJAZZ研究会



の数多くの偉大な諸先輩と後輩やJAZZ研に関わる皆様のご協力のおかげで、「商大JAZZサークルの歴史」をまとめることができ、その一端を伝えることができたのではと思います。あらためまして深く感謝申し上げます。冊子作成の上では、(株)アイムの山谷さん(平成9年卒)の全面的なサポートをいただきました。誠にありがとうございます。今後もさらなるエピソードが浮かび上がり、それらを加えた改訂版ができれば、そして、この冊子が出来て終わりとなるのではなく、この冊子が始まりとなることを願っています。

※CAT'S&CAMEL: '89入学の藤本p、沼田tp、住出b、鳴海dsと'86入学の荻野(旧姓安井)asによるバンド
※当冊子は希望者に2,000円で頒布いたします。ご所望の方はtaroom.otaru@gmail.comまでご連絡ください。



2024年
7月4日
(木)

令和6年 緑丘会札幌支部年次大会

本年は定時総会を小樽商科大学札幌サテライトの大講義室で開催させていただきました。これまで参加したことがなかった若い世代の方々にも多数ご参加いただきました。

議事につきましては満場一致によりすべて可決、定時総会は滞りなく終了いたしました。

質疑応答もあり、みなさまからのご指摘、ご意見を受け止め今後の運営にいかしてまいります。議事、質疑応答につきましては札幌支部ホームページにてご報告させていただいております。



懇親会はイタリアンレストランで開催！



同窓の親交を深める場として、若い世代にも気軽に参加していただきたいと思い、今回初の試みでレストラン<イタリアン CIRCO (チルコ)>を貸切にした懇親会を開催いたしました。

開催後、参加者のみなさまにアンケートをお願いしましたところ、平日夜の開催、レストランでの気やかな雰囲気、参加費用など概ね好評をいただきました。受付の混雑など改善すべき点もありますが、今後もみなさまに楽しく参加していただけるよう企画していきたいと思っております。

令和6年新年交礼会と今回、平成5年入学・平成9年卒のみなさまが当番幹事を務めてくださいました。ご協力いただきありがとうございました。次の当番幹事は平成6年入学・平成10年卒の方々です。お知合いに幹事期の方がいらっしゃいましたら、是非お声かけをお願いいたします。

懇親会の楽しい様子はホームページでご紹介させていただいておりますのでぜひご覧ください。

オンラインセミナー vol.9 商大卒業生の今を聞く

2024年
7月20日
(土)

「本業と副業のあり方とは。
副業4年目のリアルな体験談」

講師：藤井義隆氏

平成27年卒 経済学科 / 柴山ゼミ
総合格闘技サークル主将

本業：サッドラホールディングス株式会社
副業：企業法務 Matching 合同会社

当日のセミナーの様子は
札幌支部ホームページで
ご覧ください



Information

オンラインセミナー
vol.10

次回開催は未定

札幌支部 HP など
ご案内いたします

年齢に関係なく「副業する」ということに関心が高まっている中、本業で社員の働き方を法務の面で見ると、ご自身も副業をもって活躍する両面の立場で現状をお聞きできる貴重な講演になったと思います。

オンラインセミナーではありますが、会場聴講も用意しており、講演録画を終了した後はざっくばらんに交流する場も設けています。今後たくさんのご参加をお待ちしております。

ご登壇いただく講師の方も募集中です。自薦他薦問いませんので興味のある方は事務局までご連絡ください。

日頃より、緑丘会札幌支部にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌支部年会費は3,000円、3年分・5年分の前納は割引がございます。

2024年6月よりe会員システムの利用を開始し、クレジットカード決済、銀行振込、コンビニ支払を選択できるようになりました。前号117号でのご案内後、クレジットカード決済で納入がしやすくなったと大変好評をいただいております。

札幌支部ホームページ [年会費のご案内] で詳細をご覧ください手続きが可能です→



年度納入または一括納入を選べます ※QRコードでお支払い画面を表示できます

■年度納入

年会費 3,000円

3年分前納 8,000円 (1,000円割引)

5年分前納 12,000円 (3,000円割引)



<https://www.ekaiin.com/support/2124>

■一括納入

100,000円

会費を一括で納入できます。

全期間納入済みとなり以降納入は不要です



<https://www.ekaiin.com/support/2153>

編集後記

このたび広報部会に加わることになりました、平成27年卒の石原小百合です。

『緑丘さっぽろ102号』には小樽高商卒の祖父との思い出を寄稿させていただき、多方面から反響がありました。イケメンと名高い祖父の学生時代の写真もありますのでご覧いただけましたら嬉しいです。

私は29歳で小樽商科大学に入るまで、帰属意識や愛校心の類いを全く持つことはありませんでした。が、現在そのどちらも商大に持っております。と同時に、何か恩返しが出来うるOGでありたいとの感情も芽生えましたが、思っているのみの数年を過ごしておりました。

広報部員となったのは、小樽民家再生プロジェクトのNPOをされている山谷智恵子さんからのお声がけがきっかけです。智恵子さん企画の“浴衣で粋な小樽巡り、にはこれまで何度も参加させていただき、近いゆえ通ってなかった小樽のイベントや施設を堪能し様々な角度から小樽を楽しんでいます。2024年の夏は、大正硝子でのとんぼ玉制作や銀鱗荘でランチのフルコースをしてみました。銀鱗荘は存在は知っているものの行こうとは思っていませんでした。その歴史と建物と眺望と…素晴らしさに気付かされる良き機会となりました。在学中に知り得る小樽の表情は僅かかと思われ。卒業後に小樽を、成長した五感のもと味わう時間は精神的に豊かな気持ちになると実感しました。

さて、本日現在、何も編集に携わっていませんが、編集後記、なる部員ならではの感が満載のコーナーを担当とのこと恐縮しきりです。人生初芽生えの帰属意識と愛校心に！微力ながらお役に立てたら幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

石原小百合 (平成27年卒)

すでに5名の方が一括納入されました

会費一括納入は年齢制限なく、いつでもお手続きが可能です。以降の会費納入はなくなり、会報誌・緑丘さっぽろの送付やその他の会員権利は永年継続されます。

亡くなられた会員の皆様

2024年6月～2024年11月受付

卒業年	氏名	ご逝去日
昭和31年	齊藤 博	2024年8月25日
昭和32年	安宅 一郎	2024年1月9日
昭和33年	今田 弘司	2024年6月28日
昭和36年	小関 公望	2024年8月18日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
(敬称略)



緑丘会札幌支部 事務局

電話/FAX 011-231-6900

ホームページ <https://www.ryokyukai.com/>

Eメール ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp

事務局在室日

月・火・木・金 11:00～15:00

※水・土・日・祝は閉室です

令和7年 緑丘会札幌支部 新年交礼会

2025年 **2月15日** 土

会費 8,500円 お食事・2時間飲み放題付

開場 12:00 開会 12:30～
閉会予定 14:30

2024年卒業の方無料ご招待いたします

会場 ホテルポールスター札幌
札幌市中央区北4条西6丁目 電話 011-241-9111

クレジットカード等での事前決済受付

申込専用ページ、参加受付メールで支払い方法をご案内いたします
3日前までのキャンセルは新年交礼会終了後に返金いたします

商大 JAZZ 研究会 OBOG による生演奏♪



商大演芸の会でもおなじみの
JAZZ 研究会 OBOG による
生演奏で会場を盛り上げます！



スピーチタイムをご活用ください！

個人や OBOG 会の活動案内、同期会開催など
数分のスピーチタイムを予定しています。
ご希望の方は事務局までご連絡ください。
時間に限りがありますので、先着順にて受付、
1月31日までにお申込みください。



札幌支部イベント部会と当番幹事が同窓生のみなさんに参加のお声かけをさせていただいています
ご勤務先やお知り合いに小樽商科大学卒業生がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください

お申し込み締切：2025年1月31日(金)

事前申込の無い当日会場受付はいたしませんので必ず期日までに申込専用WEBページまたはFAX・郵送でお申し込みください
2月13日～当日のご欠席につきましては参加費を申し受けいたします

キリトリ線 ✂

▼令和7年新年交礼会 参加申込

お名前		
卒業年	大学／短大／大学院／MBA 昭和・平成・令和	年卒
メール		
電話番号		
ご住所	〒	
出身高校		
ゼミ・部・サークル		
ご勤務先		

申込専用 WEB ページ
<https://www.ryokyukai.com/form>



FAX 011-231-6900
郵送 〒060-0005
札幌市中央区北5条西5丁目7
sapporo55ビル3階
小樽商科大学札幌サテライト内
緑丘会札幌支部 宛

※恐れ入りますが通信費・郵送費はご負担ください